



# ①宇治市中小企業低利融資申込書 (申込人→金融機関)



融資申込日： 年 月 日

宇治市長あて

(太線で囲まれた部分のみ記入してください。)

申 込 人	住 所※	〒 _____	TEL ( ) - _____
			FAX ( ) - _____
	法 人 名 代 表 者 名 又 は 氏 名 (生年月日)	フリガナ _____  _____ ⑩  (明・大・昭・平・西暦 年 月 日生)	(業 種)  (法人設立年月日) 明・大・昭・平・令・西暦 年 月 日
	申 込 金 額	_____ 万円 (うち設備資金 _____ 万円)	
	資 金 使 途 (主な使途)	1 運転資金 2 設備資金 3 運転・設備資金 ( _____ ) ※人件費、仕入資金、機械購入など具体的な事由を記入してください。	期 間 年 ヵ月 (うち据置 ヵ月)

※個人事業者の場合は代表者が住民登録している住所、法人事業者の場合は登記している本店または支店の所在地を記入してください。

## ②中小企業融資制度に係る確認表 (金融機関使用)

確 認 項 目	確 認 印
1 宇治市内に1年以上住所がある。(個人は住民登録、法人は市内に本店又は支店を登記していること)	
2 1年以上継続して事業を営んでいる。	
3 市税を滞納していない者。(納税証明書(市税の完納証明書)にて確認)	
4 信用保証委託申込書の提出	
5 中小企業融資保証料補給申込書兼宣誓・同意書⑩の記入・送付	
6 京都信用保証協会及び金融機関あて個人情報提供の同意書	
7 借換の場合、既往マル宇融資の現残額が当初融資額の3分の1以下である。	

◎必ず確認いただく書類 (確認いただき□にレ点をつけてください)

【 共 通 】 □納税証明書(市税の完納証明書) □信用保証委託申込書

【法人の場合】 □商業登記簿謄本(写) □定款(写) □決算書(勘定科目明細)直近2期分(写)

【個人の場合】 □住民票 □確定申告書直近2期分(写)

※『設備資金の場合』は上記に加えて、□設備計画書・□見積書又は契約書・□カタログ・□家主の承諾書 などが必要

◎必要に応じ確認いただく書類 (確認書類は□にレ点を付けてください)

□許認可書(写) □試算表(直近月) □資金繰表 □不動産登記簿謄本(写)

□賃貸契約書(写) □現在借入中の融資の返済予定表(全てのものの写)

取扱金融機関担当者署名捺印  
 担当者氏名 \_\_\_\_\_ ⑩

## ③貸付実行報告書 (金融機関→宇治市産業振興課へ郵送)

年 月 日

宇治市長あて

宇治市中小企業低利融資について、次のとおり実行しましたので報告します。

貸付金額	_____ 万円 (うち設備資金 _____ 万円)	貸付金利	_____ %
貸付期間	_____ 年 _____ 月 _____ 日から _____ 年 _____ 月 _____ 日まで	_____ ヵ月(うち据置 _____ ヵ月)	
返済方法	_____ 年 _____ 月 _____ 日から 毎月 _____ 日		
毎月の返済額	_____ 円 × ( ) 回	最終月の返済額	_____ 円 × 1 回

(取扱金融機関名)

銀行・信用金庫

本店・支店



「③」記入後、本用紙(原本)を宇治市産業振興課へ郵送(〒611-8501 住所記載不要)してください。